

平成27年度第4回川崎市青少年科学館協議会摘録

日 時 平成28年3月2日(水) 午後2~4時

会 場 かわさき宙と緑の科学館(川崎市青少年科学館)自然学習棟2階 学習室1

出席者(敬称略)

- (1) 委員 (社会教育) 岩切貴乃(公募市民) 渡邊敬三、服部公俊
(学識経験者) 山上明、勝山輝男、洞口俊博、木場英久(家庭教育) 有北郁子
- (2) 事務局 島田館長、大泉、川島、弘田、小鍛治、黒瀬
- (3) 傍聴者 0人

凡例 発言者について

□□: 委員、○○: 事務局員(青少年科学館職員)

1 開会

事務局より、開会告知、傍聴者受入(定員10人)、記録(録音及び筆記)作成及び会議記録公開について周知

2 館長挨拶

3 協議会委員紹介(岩切委員)

4 副会長選出

- ・立候補者なし
- ・事務局からの提案(渡邊委員)について、協議会承認
- ・副会長として渡邊委員を選任

以下、山上会長が議事進行

5 議事1 平成28年度事業の進行管理について

会長の説明依頼に基づき、各担当から説明

岩切 中長期計画(平成24~33年度)において、10年の間1つの記載のみとなっている項目が多いようである。10年の中で、期間を区切ってステップが明確に見えるようにするとよいと思う。資料の表示上の問題もあるが、目標に向けた分析を進めることにより、協議会全体で各項目のゴールイメージを共有しやすくなるのではないかと。

黒瀬 ご意見に基づき、資料に手を加えることとする。

木場 これまでの自然環境調査の集大成として、生物目録の刊行に向けた予備調査が始まるということだが、第1~8次調査期間中の自然環境の変遷等について解析が加えられることとなるのか。

川島 目録についてはこれまでの観察の記録を集めることを第一義としており、変遷等の解析を加えるところまでは至らないものと思う。

木場 目録作成は館、調査団のどちらが主導しているのか。

川島 神奈川県昆虫誌や神奈川県植物誌の体裁を参考としながら、館が主導して編さんを進めている。

会長 予備調査とされているが、どのような調査なのか。

川島 一方の担い手である自然調査団構成員が高齢化していることもあり、未定な部分が多いが、文献調査中心となるかもしれない。

服部 自然展示を入れ替えるとのことだが、固定展示用のスペースしかないなかで、どのような対応を考えているのか。

川島 大部分の展示は固定化されているため入替は難しいが、生田緑地ギャラリーの引出展示については手作業による入替が容易なため、ここの活用を考えている。

服部 将来的には企画展示ができるようなスペース確保ができるとよい。自然展示に限らず様々な企画展示も可能となる。

川島 現時点では見当たらないが、試行錯誤の中でスペース確保を図っていききたい。

服部 「職員による展示解説の実施」とあるが、ボランティア対応も可能と思うので、その育成・活用も長期的な目標として設定してみてもどうか。

木場 自然史資料の収集・整理の推進により、今後外部利用の増加が予想されるが、今後に向け、負担にならない方法で、利用実績が残るような仕組づくりを検討してほしい。

川島 収蔵庫に利用記録ノートを設置しており、この記録を活用したい。

勝山 現在行っている神奈川県植物誌の改定作業においても一部に科学館標本を利用するなど、科学館資料の利用数が増えていくと思うので、資料を利用しやすい仕組づくりを進めるとともに、標本の活用実績を残すことは大切と思う。

渡邊 計画全般についてであるが、この中で、経常的に進んでいるものと多くのプロセスを経るものがある。例えば、「外国人利用者に向けた情報発信」については、検討のための組織づくりや他の部署との連携など計画に向けた対応が多岐に渡っていると思う。このような項目については実現に向けたプロセスをもう少し具体的に示してもらいたい。

黒瀬 可能なものについては、より具体的な表現としたい。

6 議事2 平成28年度事業計画について

会長の説明依頼に基づき、各担当から説明

洞口 メガスター運営経費の平成28年度予算額について、前年度より多くなっているが、今後も保守経費は増え続けていくのか。

弘田 保守業者から示されている20年計画の中では、基本的な保守経費の他に一定の期間ごとの部品交換経費が計上されており、年によって増減が生じる見込みである。

有北 運営管理事業費が前年比で約170万円減となっているのが残念である。展示設備の保守や資料収集に影響が出ないか心配である。また、ゆうゆう広場科学実験教室については、どれくらい実施しているのか。

大泉 ゆうゆう広場については市内6ヶ所あるが、それぞれ各4回（うち2回は科学館、2回はゆうゆう広場）実施し、合計24回開催している。

有北 こども夢パークの中でもフリースペースがあるが、ゆうゆう広場との関連はあるか。

大泉 関連については承知していないが、ゆうゆう広場については市の総合教育センターの主導により運営している。

勝山 運営管理事業費について前年比で減とされているが、リニューアル後からの予算の推移を示してほしい。また今年度の減少額（約 170 万円）については主にどの部分によるのか。

黒瀬 備品購入費や消耗品費の減額によるものであり、主催事業に直接影響を与えないようにしている。

※事務局注：この他印刷製本費についても大きく減額しています。こちらも主催事業に直接の影響を与えるものではありません。

渡邊 館の存在感を市内で高めるためにも、学校との情報ネットワーク構築について以前から提言しているところであるが、事業計画には示されていない。10 年計画では記載されているが、ネットワークの構築についてどのように考えているのか。

黒瀬 対応はしているので、事業計画に追加記載することとしたい。

大泉 学校のイントラシステム内への科学館による学校向けホームページの設置に向け、検討を進めているが、セキュリティに係る規制強化など検討課題が多い。

有北 学校に向けた情報発信や観光向けの広報については、事業計画においては見えにくくなっているように思う。

7 その他

(1) 次回協議会について

黒瀬 次回からは社会教育委員会議青少年科学館部会として開催するが、活動内容については従来と同様である。今年度と同様に第 1・2・4 回については会議形式、第 3 回については視察形式とする予定である。第 1 回については 6～7 月の開催を予定しており本日の資料の修正版、27 年度の事業報告を提出する予定である。第 2 回については 9～10 月の開催を予定しており、28 年度の事業進捗状況の報告をする予定である。

(2) その他

なし

8 閉会

会長より閉会告知